

# 令和元年度 社会福祉法人西都市社会福祉協議会 事業報告

## I 事業の概況

西都市では、高齢化率が36.95%（令和2年4月1日現在）となり、少子高齢化の中で単身世帯の増加や人間関係の希薄化、雇用のあり方の変化など地域社会の変容により、既存の制度では対応の難しい複雑・多様化した生活・福祉課題が増加しています。

このような状況の中で、財政的には依然として厳しい状況ではありますが、「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる地域社会」の実現を目指し、各種事業の充実・強化に努めてきました。

また、令和元年度は、コンプライアンス元年と位置付け、コンプライアンス基本方針に則り、職員教育に努めるとともに、様々な福祉サービスと住民主体の福祉活動を組み合わせることを目指し、事業経営の効率化・健全化の向上に向け事業見直しを行ってまいりました。さらに、介護保険事業では、厳しい経営状況ではありますが、安定経営を目指し、行政とも連携しながら体制づくりに努めてまいりました。

以上のような取り組みのもと、本会は地域福祉を推進する中核的な団体として行政や各関係機関・各種団体及び住民組織等の支援や協力を得ながら、「法人の運営管理と経営基盤の充実強化」「地域福祉活動推進事業の充実強化」「福祉サービス利用支援事業の充実強化」「在宅福祉事業の充実強化」の4つの重点事項を掲げ、多岐にわたる事業を積極的に展開してきました。

以下、その実施内容について報告します。

## II 社協概要

|       |   |
|-------|---|
| 名 称   | 社会福祉法人西都市社会福祉協議会                                  |
| 設立年月日 | 昭和43年3月12日  |
| 役 員   | 【理 事】定数9名（内会長1名、副会長1名）<br>【監 事】定数2名<br>【評議員】定数15名 |
| 事務局組織 | 32頁参照   |

## III 具体的実施事項

### 1 法人の運営管理と経営基盤の充実強化（総務課 総務係）

#### (1) 会務の運営

事業執行と管理・監督のチェック機能を高めるとともに、理事会は執行機関として、評議員会は議決機関として、双方の役割機能を発揮できるよう円滑かつ効率的に本会運営を推進してまいりました。

また、本会のより健全な経営及び運営を図るため、監事の指導及び監査により会務の適正な

執行に努めました。

なお、令和2年3月18日開催の第6回理事会及び令和2年3月26日開催の第4回評議員会については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、決議の省略方式（全員の書面による議決）により行いました。

#### ア 理事会の開催

##### 第1回 令和元年6月12日（水）

① 出席者 理事7名 監事1名 欠席者 理事2名 監事1名

② 会場 西都市地域福祉センター研修室

##### ③ 議事

議案第1号 平成30年度事業報告について

議案第2号 平成30年度収支決算について

議案第3号 令和元年度収支予算補正について

議案第4号 就業規則の一部改正について

議案第5号 介護保険事業関係規程の見直しについて

議案第6号 評議員候補者の推薦について

議案第7号 評議員会の招集について

##### 第2回 令和元年6月27日（木）

① 出席者 理事8名 監事2名 欠席者 理事1名

② 会場 西都市地域福祉センター研修室

##### ③ 議事

議案第1号 会長及び副会長の選定について

議案第2号 福祉サービスに関する苦情解決第三者委員会委員の選任について

##### 第3回 令和元年10月9日（水）

① 出席者 理事7名 監事2名 欠席者 理事2名

② 会場 西都市地域福祉センター

##### ③ 議事

議案第1号 令和元年度収支予算補正について

議案第2号 定款細則の一部改正について

議案第3号 非常勤職員給与規程の一部改正について

議案第4号 評議員会の招集について

##### 第4回 令和元年12月12日（木）

① 出席者 理事6名 監事2名 欠席者 理事3名

② 会場 西都市地域福祉センター

##### ③ 議事

議案第1号 令和元年度収支予算補正について

議案第 2 号 評議員候補者の推薦について

議案第 3 号 評議員会の招集について

第 5 回 令和元年 12 月 20 日（金）

① 出席者 理事 6 名 監事 2 名 欠席者 理事 3 名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 議 事

議案第 1 号 副会長の選定について

第 6 回 令和 2 年 3 月 18 日（水）：決議の省略方式

① 出席者 理事 9 名 監事 2 名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 議 事

議案第 1 号 運営規程の一部改正について

議案第 2 号 コンプライアンス規程の一部改正について

議案第 3 号 役員等報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について

議案第 4 号 事務局組織規程の一部改正について

議案第 5 号 職員給与規程の一部改正について

議案第 6 号 嘱託職員給与規程の一部改正について

議案第 7 号 臨時職員給与規程の一部改正について

議案第 8 号 パートタイム職員給与規程の一部改正について

議案第 9 号 非常勤職員給与規程の一部改正について

議案第 10 号 令和 2 年度事業計画（案）について

議案第 11 号 令和 2 年度資金収支予算（案）について

議案第 12 号 評議員会の招集について

イ 評議員会の開催

定時評議員会 令和元年 6 月 27 日（木）

① 出席者 評議員 12 名 監事 2 名 欠席者 評議員 3 名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 議 事

議案第 1 号 平成 30 年度事業報告について

議案第 2 号 平成 30 年度収支決算について

議案第 3 号 令和元年度収支予算補正について

議案第 4 号 役員の選任について

第 2 回 令和元年 10 月 21 日（月）

① 出席者 評議員 11 名 監事 2 名 欠席者 評議員 4 名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 議 事

- 議案第 1 号 令和元年度収支予算補正について
- 議案第 2 号 定款細則の一部改正について
- 議案第 3 号 非常勤職員給与規程の一部改正について

第 3 回 令和元年 12 月 20 日 (金)

① 出席者 評議員 12 名 監事 2 名 欠席者 評議員 3 名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 議 事

- 議案第 1 号 令和元年度収支予算補正について
- 議案第 2 号 理事の補充選任について

第 4 回 令和 2 年 3 月 26 日 (木) : 決議の省略方式

① 出席者 評議員 15 名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 議 事

- 議案第 1 号 運営規程の一部改正について
- 議案第 2 号 コンプライアンス規程の一部改正について
- 議案第 3 号 役員等報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
- 議案第 4 号 令和 2 年度事業計画 (案) について
- 議案第 5 号 令和 2 年度資金収支予算 (案) について
- 議案第 6 号 理事の補充選任について

ウ 評議員選任・解任委員会の開催

第 1 回 令和元年 6 月 26 日 (水)

① 出席者 4 名

② 会 場 西都市老人福祉センター

③ 議 事

- 議案第 1 号 委員長の選任について
- 議案第 2 号 評議員の選任について

第 2 回 令和元年 12 月 20 日 (金)

① 出席者 4 名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 議 事

- 議案第 1 号 評議員の選任について

エ 監査の実施

(ア) 法人監査の実施

- ① 期 日 令和元年 5 月 29 日（水）
- ② 会 場 西都市地域福祉センター
- ③ 出席者 監事 2 名
- ④ 内 容 1 平成 30 年度業務執行状況  
2 平成 30 年度収支決算状況

※6 月 12 日の理事会及び 6 月 27 日の定時評議員会にて監査結果報告

(イ) 財政援助団体監査

- ① 期 日 令和元年 8 月 27 日（火）
- ② 会 場 西都市地域福祉センター

(ウ) 社会福祉法人特別監査

- ① 期 日 令和元年 11 月 26 日（火）
- ② 会 場 西都市地域福祉センター

オ 会計事務所外部指導・監査の実施

飯田三和税理士事務所の税理士より、年 6 回（5 月・6 月・9 月・10 月・12 月・2 月）の指導を受け実施。

カ 定例事務局会議（事務局長・次長・課長・係長）／毎月

各係における事業の進捗状況や課・係を横断した内部連携の強化を図るとともに、事務局の意思統一及び決定の場として開催。

(2) 施設（総合福祉センター及び山村憩いの家）の指定管理者としての管理運営

総合福祉センター（老人福祉センター及び地域福祉センター）の指定管理者として、市民の福祉活動や各種団体等の交流及び研修活動等、幅広い運営を行った。また、山村憩いの家「しるみ」についても、指定管理者として、住民の健康推進等の事業を展開した。

なお、昨年の総合福祉センター利用者については、事業見直しによる利用者の減少や新型コロナウイルス感染防止による事業の見合わせ等の理由により、前年度を下回った。

ア 総合福祉センター及び山村憩いの家の利用状況

| 利用目的         | 総合福祉センター |          | 山村憩いの家 |          |
|--------------|----------|----------|--------|----------|
|              | 令和元年度    | 平成 30 年度 | 令和元年度  | 平成 30 年度 |
| ふれあい総合相談センター | 22 名     | 37 名     |        |          |
| 高齢者クラブ会議・研修  | 229 名    | 208 名    |        |          |
| 各種会議・研修等     | 2,058 名  | 4,133 名  |        |          |
| 入浴利用者        | 2,771 名  | 3,711 名  | 132 名  | 186 名    |
| ヘルストロン利用者    | 987 名    | 4,347 名  | 544 名  | 419 名    |
| 合計           | 6,067 名  | 12,436 名 | 676 名  | 605 名    |

(3) 車両の管理・運行及び交通法令遵守の徹底

公用車の保管及び整備と職員の更なる交通安全意識の高揚を図るとともに、福祉バス（中型バス・マイクロバス）を活用した団体等への積極的な支援に努めた。

なお、昨年度の福祉バス利用については、事業見直しによる利用者の減少や新型コロナウイルス感染防止による事業・イベント見合わせ等の理由により、前年度を下回った。

#### ア 福祉バスの運行及び利用状況

| 利用団体名                     | 中型バス     |       |          |       | マイクロバス   |       |          |       |
|---------------------------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
|                           | 回数       | 人数    | 回数       | 人数    | 回数       | 人数    | 回数       | 人数    |
|                           | 令和元年度    |       | 平成30年度   |       | 令和元年度    |       | 平成30年度   |       |
| 高齢者クラブ連合会                 | 13       | 328   | 22       | 522   | 2        | 38    | 4        | 55    |
| 障害者団体                     | 2        | 52    | 1        | 20    | 0        | 0     | 0        | 0     |
| 市役所関係                     | 6        | 626   | 6        | 1,688 | 0        | 0     | 0        | 0     |
| 保育所関係                     | 7        | 289   | 15       | 595   | 9        | 196   | 3        | 76    |
| 児童・生徒                     | 17       | 528   | 8        | 227   | 2        | 84    |          |       |
| 民生委員児童委員協議会               | 3        | 27    | 4        | 32    |          |       |          |       |
| ボランティア団体                  | 1        | 24    | 1        | 24    | 1        | 15    | 4        | 51    |
| 市社会福祉協議会<br>(みんデイ・シルいき含む) | 7        | 139   | 14       | 226   | 100      | 1,527 | 164      | 2,012 |
| 地区社協・区福祉推進會               | 51       | 1,151 | 62       | 1,384 | 10       | 193   | 3        | 56    |
| その他                       | 8        | 207   | 13       | 229   | 2        | 41    | 0        | 0     |
| 合計                        | 114      | 3,347 | 146      | 4,974 | 126      | 2,094 | 178      | 2,250 |
| 年間走行距離                    | 14,414Km |       | 19,264Km |       | 10,662Km |       | 16,299Km |       |

#### (4) 職員の人材育成・研修事業等

##### ア 職員研修の実施

職員のコンプライアンス意識の徹底、能力開発及び資質の向上等を図るため、職場内研修を行い、社協職員としての法令遵守意識の向上と倫理観の醸成及び専門性の確立に努めた。

①期 日 平成31年4月18日(木)

令和元年11月13日(水)

②会 場 西都市地域福祉センター




##### イ 人事評価の試行

課長等管理職員の指導力・管理能力の向上に向けて、12月1日を基準日として人事評価の試行を行った。特に、事業や職員の管理ということについて学ぶ機会になったと考える。今後2年ほど試行を行い、本格的な実施につなげてまいりたい。

#### (5) 広報・啓発活動

本会が取り組む事業を紹介することにより、福祉に対する市民の理解と関心を高めることや市民の福祉活動への積極的な参加を促進するために、ホームページの活用や次の事業を行った。

ア 広報紙「社協だより」の発行

| 発行日                 |   | 主な掲載内容  |
|---------------------|---|---|
| 5月15日発行<br>「Vol.94」 |  | 社会福祉法人連携支援事業／令和元年度事業計画・予算／事業内容紹介／社協会費のお願い／民生委員児童委員広報／ホームページ開設／寄附者報告   |
| 9月15日発行<br>「Vol.95」 |  | 西都市社会福祉大会案内／平成30年度事業報告・決算／赤い羽根共同募金助成団体報告／ボランティア月間／みやざき安心セーフティーネット事業／西都市認知症SOSネットワーク／子西都市高齢者クラブ広報／無料法律相談案内／寄附者報告 |
| 9月15日発行<br>「Vol.96」 |  | 赤い羽根共同募金お礼／西都市認知症フォーラム報告／サロン紹介／配食サービス事業案内／係りの事業報告／西都市高齢者クラブ広報／無料法律相談案内／寄附者報告                                    |

イ 第6回西都市社会福祉大会の開催

3年ごとに開催としている西都市社会福祉大会については、福祉関係者並びに幅広い世代の住民が一堂に集い、人と人がつながり、支えあえる社会の実現について考える機会とするとともに、あわせて、多年にわたり、社会福祉の発展に功労のあった方々を顕彰し感謝と敬意を表することを目的に、昨年9月21日、西都市民会館において開催した。当日は、雨天にもかかわらず多くの市民の参加があり、講演者との交流も行われ、成功裡に終了した。



(ア) 開催日 令和元年9月21日(土)

(イ) 会場 西都市民会館

(ウ) 内容 式典西都市長表彰 西都市社会福祉協議会会長表彰  
講演《席上揮毫》 金澤 翔子 氏

《演題》ダウン症の娘と共に生きて 《講師》金澤 泰子 氏

(エ) 来場者数 約600名

(6) 財政基盤の確立

地域福祉の推進を図るため、社協の構成員(会員)である市民に対する社協活動への理解及び参画を呼び掛け、会費の協力依頼を行うとともに、香典返しをはじめとする特別寄附金(篤志寄附)などを受け付けた結果、下記のとおり寄せられた。

また、県共同募金会西都市共同募金委員会との連動による募金運動の推進を行った。その他の財源収入(補助金・助成金・介護保険事業収入等)状況は、別添決算書のとおりである。

なお、人口減少やコミュニティ意識の希薄化(自治会組織からの退会等)により、年々収入が減少してきており、その対策も検討が必要な状況となっている。

ア 会費

| 種 別               | 令和元年度       | 平成 30 年度    |
|-------------------|-------------|-------------|
| 個人会費（各世帯等）        | 3,225,950 円 | 3,267,800 円 |
| 特別会費（福祉施設・団体・機関等） |             |             |
| 賛助会費（会社・事業者等）     | 0 円         | 10,000 円    |
| 合 計               | 3,225,950 円 | 3,277,800 円 |

イ 特別寄附（香典返し）

| 内 訳  | 令和元年度       | 平成 30 年度    |
|------|-------------|-------------|
| 寄附件数 | 117 件       | 153 件       |
| 寄附金額 | 2,030,000 円 | 2,558,000 円 |

ウ 一般寄附（一般寄附金）

| 内 訳  | 令和元年度     | 平成 30 年度  |
|------|-----------|-----------|
| 寄附件数 | 9 件       | 8 件       |
| 寄附金額 | 288,722 円 | 319,338 円 |

エ 共同募金

| 種 別       | 令和元年度       | 平成 30 年度    |
|-----------|-------------|-------------|
| 一般募金      | 5,190,965 円 | 5,149,071 円 |
| 歳末たすけあい募金 | 302,390 円   | 553,038 円   |
| 合 計       | 5,493,355 円 | 5,702,109 円 |

※助成の内訳等は、県共同募金会西都市共同募金委員会事業報告書による

(7) その他

ア 令和元年度中の本会の表彰関係

<個人の表彰>

「九州社会福祉協議会連合会会長表彰」 職員 1 名 受賞

「宮崎県社会福祉協議会会長表彰」 職員 2 名 受賞

イ 県内九市社会福祉協議会会長・事務局長会議の西都市での開催

期 日 令和元年 9 月 12 日（木）

会 場 西都市地域福祉センター

出席者 25 名

2 福祉サービス利用支援事業の充実強化（生活支援課 相談サポート係）

毎日の生活の中での、困りごとに対して、相談者の立場に立った支援を心がけ、一つひとつの相談を丁寧を受け止め、相談者とともに解決に向けた支援を行った。

さらに、相談内容も複雑化してきているため、関係機関や他業種とのネットワークを構築し、



連携してより専門的に支援を行った。

(1) ふれあい総合相談センター事業（常設相談：240日）

常勤職員（1名）を配置し、総合相談窓口として多様な相談に応じ、関係機関と連携しながら解決に向けて支援を行った。また、弁護士による無料法律相談（毎月第3火曜日）も実施し、専門家への繋ぎを行った。

また、近年生活困窮者に関する相談も多くなり、社会福祉法人と協働で支援を行う、みやざき安心セーフティネット事業（相談支援実施件数：10件）の取り組みも行ってきた。

| 相談内容  | 令和元年度 | 平成30年度 |
|-------|-------|--------|
| 生 計   | 44 件  | 35 件   |
| 結婚・離婚 | 0 件   | 4 件    |
| 医 療   | 0 件   | 2 件    |
| 人権・法律 | 24 件  | 37 件   |
| 障害・福祉 | 0 件   | 6 件    |
| 老人福祉  | 272 件 | 333 件  |
| 苦 情   | 0 件   | 1 件    |
| そ の 他 | 46 件  | 56 件   |
| 合 計   | 386 件 | 474 件  |

(2) 資金貸付事業

ア たすけあい資金貸付金（相談件数：15件）

低所得者の市民が緊急かつ臨時的な出費を必要とする際に、民生委員の助言・支援を受けながら自立を支援するため、市民からの相談をもとに貸付を行う事業であるが、相談はあったものの貸付には至らなかった。

イ 生活福祉資金貸付金（相談件数：15件）

宮崎県社会福祉協議会から委託を受け、低所得者、障がい者及び高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立、生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにするため貸付の相談受付窓口業務を行った。

| 資金区分   | 令和元年度 |           | 平成30年度 |           |
|--------|-------|-----------|--------|-----------|
| 福祉資金   | 0 件   | 0 円       | 1 件    | 100,000 円 |
| 教育支援資金 | 1 件   | 476,000 円 | 1 件    | 206,000 円 |
| 合 計    | 1 件   | 476,000 円 | 2 件    | 306,000 円 |

(3) 日常生活自立支援事業

宮崎県社会福祉協議会から委託を受け、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などのうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約にもとづき、専門員4名と生活支援員4名で支援を行った。また、さらに判断能力の低下した利用者に関しては、成年後見制度への移行支援を行い、利用者の状態に応じた適切な支援が行えるよう取り組んだ。

ア 相談及び問い合わせ件数

| 相談者区分   | 令和元年度 | 平成 30 年度 |
|---------|-------|----------|
| 認知症高齢者等 | 318 件 | 420 件    |
| 知的障害者等  | 143 件 | 227 件    |
| 精神障害者等  | 80 件  | 90 件     |
| そ の 他   | 37 件  | 56 件     |
| 合 計     | 578 件 | 783 件    |

イ 契約者数等

| 契約者区分   | 令和元年度 |       | 平成 30 年度 |       |
|---------|-------|-------|----------|-------|
|         | 新規契約者 | 契約者総数 | 新規契約者    | 契約者総数 |
| 認知症高齢者等 | 1 名   | 15 名  | 6 名      | 36 名  |
| 知的障害者等  | 1 名   | 15 名  | 2 名      | 16 名  |
| 精神障害者等  | 0 名   | 12 名  | 2 名      | 16 名  |
| そ の 他   | 0 名   | 1 名   | 0 名      | 1 名   |
| 合 計     | 2 名   | 43 名  | 10 名     | 69 名  |

(4) 法人後見事業

認知症・知的障がい・精神障がい等によって物事を判断する能力が不十分な方に対し、本会が、法人として成年後見人等になり、その方の判断能力を補い、安心して日常生活ができるよう専門員兼支援員 1 名を配置して支援を行った。

ア 受任件数

| 内 訳     | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 備考  |
|---------|-------|----------|---|
| 継 続     | 5 件   | 0 件      |   |
| 新 規     | 4 件   | 7 件      | 平成 30 年度：後見 4 件、保佐 1 件、補助 2 件<br>令和元年度：後見 2 件、保佐 0 件、補助 2 件 |
| 終 了     | 1 件   | 2 件      | 本人死亡による終了   |
| 年度末受任件数 | 8 件   | 5 件      | 平成 30 年度：後見 2 件、保佐 1 件、補助 2 件<br>令和元年度：後見 3 件、保佐 1 件、補助 4 件 |
| 累計受任件数  | 11 件  | 7 件      |   |

イ 受任検討委員会

| 期日                       | 件数  | 内容・結果                            |
|--------------------------|-----|----------------------------------|
| 第 1 回 令和元年 10 月 31 日 (木) | 3 件 | 市長申立：1 件 本人申立：2 件<br>検討結果：2 件受任可 |

|                  |    |                       |
|------------------|----|-----------------------|
| 第2回 令和2年1月23日(木) | 1件 | 市長申立：1件<br>検討結果：1件受任可 |
|------------------|----|-----------------------|

ウ 運営委員会の開催

| 期日               | 内容  |
|------------------|---|
| 第1回 令和元年7月23日(火) | 1.法人後見事業実施状況報告<br>2.成年後見人人材育成事業に係るブロック別説明会の報告 |

エ 研修会等への参加(人材育成)

| 研修名                | 参加人数 |
|--------------------|------|
| 法人後見専門員育成研修        | 1名   |
| 法人後見専門員フォローアップ研修   | 1名   |
| 法人後見支援員(市民後見人)養成研修 | 2名   |

(5) 障がい者生活サポートセンター「なごみ」(一般相談支援事業・特定相談支援事業)

障がい者・障がい児又はその家族の相談を受け、日常生活での自立や社会参加の支援を2名の相談支援専門員で行った。

相談においては、一般相談から計画相談を実施し、一般相談では相談の内容に応じて、様々な機関と連携し、生活課題やニーズの充足に向けた支援を行った。

また、計画相談では、障がい福祉サービス利用の計画書を作成し、各サービス事業所ときめ細かな情報交換を行い、利用者の支援を実施した。

ア 相談件数

(単位：名)

| 区分  | 身体  |     | 重症心身 |     | 知的 |     | 精神  |     | 発達 |     | その他 |     | 合計  |     |
|-----|-----|-----|------|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | R1  | H30 | R1   | H30 | R1 | H30 | R1  | H30 | R1 | H30 | R1  | H30 | R1  | H30 |
| 障害者 | 132 | 148 | 23   | 8   | 48 | 114 | 397 | 451 | 33 | 20  | 117 | 72  | 750 | 813 |
| 障害児 | 27  | 28  | 4    | 1   | 17 | 25  | 0   | 0   | 24 | 25  | 0   | 5   | 72  | 84  |
| 合計  | 159 | 176 | 27   | 9   | 65 | 139 | 397 | 451 | 57 | 45  | 117 | 77  | 822 | 897 |

イ 支援方法

|     | 訪問   | 来所<br>相談 | 同行  | 電話<br>相談 | 電子<br>メール | 個別支<br>援会議 | 関係<br>機関 | その他 | 計    |
|-----|------|----------|-----|----------|-----------|------------|----------|-----|------|
| R1  | 250件 | 24件      | 69件 | 336件     | 9件        | 5件         | 21件      | 9件  | 723件 |
| H30 | 280件 | 26件      | 76件 | 356件     | 17件       | 16件        | 16件      | 2件  | 784件 |

ウ 支援内容

| 内容               | 令和元年度 | 平成30年度 |
|------------------|-------|--------|
| 福祉サービスの利用等に関する支援 | 284件  | 292件   |

|                  |      |      |
|------------------|------|------|
| 障害や病状の理解に関する支援   | 6件   | 23件  |
| 健康・医療に関する支援      | 144件 | 103件 |
| 不安の解消・情緒安定に関する支援 | 126件 | 167件 |
| 保育・教育に関する支援      | 18件  | 14件  |
| 家族関係・人間関係に関する支援  | 12件  | 14件  |
| 家計・経済に関する支援      | 10件  | 59件  |
| 生活技術に関する支援       | 40件  | 28件  |
| 就労に関する支援         | 18件  | 7件   |
| 社会参加・余暇活動に関する支援  | 7件   | 8件   |
| 権利擁護に関する支援       | 12件  | 11件  |
| その他              | 46件  | 41件  |
| 合 計              | 723件 | 784件 |

#### エ 計画作成実績

| 内 容 | 令和元年度 | 平成 30 年度 |
|-----|-------|----------|
| 成 人 | 297 名 | 338 名    |
| 児 童 | 112 名 | 131 名    |
| 合 計 | 409 名 | 469 名    |

#### (6) 社会福祉法人協働型地域貢献支援事業

社会福祉法人のネットワークを構築し、地域貢献、社会貢献の方法を協議し、西都市全体の福祉力の向上を目的とし連携会議及び事業を実施した。

| 事 業 内 容    | 令和元年度         | 平成 30 年度     | 備 考                    |
|------------|---------------|--------------|------------------------|
| フードバンク事業   | 743 食 (17 世帯) | 481 食 (7 世帯) | 事業周知が進み、提供食数増となった。     |
| すっきりクリーン事業 | 2 回           | 1 回          | 6 法人が参加し、家屋内の片付けを実施した。 |

### 3 地域福祉活動推進事業の充実強化（地域福祉活動おうえんセンター 地域福祉係）

地域共生社会の実現に向け、地域住民や様々な団体に対し、社会福祉制度や地域福祉活動への関心と理解をすすめるため、地域課題や生活課題を解決するための実践力を身につけてもらうことを目的に様々な支援を行った。

また一方では、高齢化や人口減少が進み、地域における支え合い基盤や人と人とのつながりが弱まる中、①福祉分野のみならず、地域づくりや防災・減災、社会教育など様々な分野で住民が主体的に推進する活動への期待が高まり、その組織づくりが制度・分野ごとに進められていること、②介護予防や地域包括ケアの推進により本会が推進してきた取り組みと類似した事業や活動が、行政の取り組みや民間サービスの中で増えてきたこと、③本会が推進する事業や活動を支えていただいている協力者やボランティアの人材の確保・育成が課題となっている等の現状により事業や活動の検討・見直しにも努めた。

(1) 小地域ネットワーク事業

福祉推進会長の推薦により、概ね 30 世帯に 1 人の割合で福祉協力委員を委嘱し、福祉推進会長（区長）・民生委員児童委員と一体となって、支援が必要な地域住民の早期発見・見守り・支援活動を行なう事業で、組織的かつ生活圏域に合わせて事業展開を図るため、行政区ごとに福祉推進会を組織し事業を推進した。

また、住民意識の高揚や具体的な地域福祉活動を実践するため、区福祉推進会等が実施主体となり「地域の福祉力強化推進事業」や「ふれあい・いきいきサロン事業」を推進した。

ア 区福祉推進会設置状況

| 地 区 名 | 区福祉推進会  |
|-------|---------|
| 妻     | 19 か所設置 |
| 穂 北   | 12 か所設置 |
| 三 納   | 7 か所設置  |
| 都於郡   | 8 か所設置  |
| 三 財   | 8 か所設置  |
| 東米良   | 1 か所設置  |
| 合 計   | 55 か所設置 |

イ 福祉協力委員委嘱状況

| 地 区 名 | 令和元年度 | 平成 30 年度 |
|-------|-------|----------|
| 妻     | 191 名 | 197 名    |
| 穂 北   | 85 名  | 90 名     |
| 三 納   | 59 名  | 62 名     |
| 都於郡   | 50 名  | 46 名     |
| 三 財   | 68 名  | 65 名     |
| 東米良   | 10 名  | 15 名     |
| 合 計   | 463 名 | 475 名    |

ウ 地域の福祉力強化推進事業実施状況

| 実施プログラム名              | 令和元年度 |       |
|-----------------------|-------|-------|
|                       | 実施推進会 | 実施回数  |
| 地域住民を対象とした講座・座談会      | 13 か所 | 13 回  |
| 地域福祉活動の担い手を対象とした講座    | 19 か所 | 21 回  |
| 支援が必要な地域住民宅への訪問・声掛け活動 | 45 か所 | 443 回 |
| 地域の生活課題等を専門機関につなげる活動  | 29 か所 | 132 回 |
| 地域住民同士の交流活動           | 48 か所 | 59 回  |
| その他の地域福祉活動            | 42 か所 | 106 回 |
| ふれあい・いきいきサロン事業        | 32 か所 | 416 回 |
| 自己財源確保事業              | 30 か所 |       |

|            |       |       |
|------------|-------|-------|
| 委員会（会議）の開催 | 42 か所 | 183 回 |
|------------|-------|-------|

#### エ ふれあい・いきいきサロン事業実施状況

区や公民館エリア等、地域住民の身近な生活圏域において、福祉推進会役員（区長・民生委員児童委員・福祉協力委員）と地域住民が協働で企画・運営を行い、地域住民の仲間づくり、生きがいをづくりを目的として行った。

本年度は 32 か所の福祉推進会等（38 か所の拠点）が、気軽に・無理なく・楽しく・自由な発想のもと活動が推進できるよう支援を行った。

なお、2 月以降、新型コロナウイルス感染防止の観点から、事業を自粛するところもあり、実施状況は前年度を下回る結果となった。

#### （ア）事業実績（前年度との比較）

| 区 分       | 令和元年度             | 平成 30 年度    |
|-----------|-------------------|-------------|
| 実施福祉推進会等数 | 32 か所の福祉推進会／38 拠点 | 36 か所／40 拠点 |
| 実施延べ回数    | 416 回             | 564 回       |
| 参加延べ人数    | 7,819 名           | 10,408 名    |

#### （イ）拠点ごとの事業実績

| No. | 福祉推進会・サロン名                   | 実施回数 | 主なサロンの内容         | 延参加人数 |
|-----|------------------------------|------|------------------|-------|
| 1   | 第 4・5 区福祉推進会<br>（百歳体操）       | 12 回 | 百歳体操<br>健康づくり    | 283 人 |
| 2   | 第 7 区福祉推進会<br>（あいそめ会）        | 12 回 | 百歳体操<br>地域活動（清掃） | 295 人 |
| 3   | 第 8 区福祉推進会<br>（いきいきはまんこサロン）  | 12 回 | 百歳体操<br>茶話会      | 255 人 |
| 4   | 第 9 区福祉推進会<br>（桜川会）          | 11 回 | 交流会<br>レクリエーション  | 246 人 |
| 5   | 第 10 区福祉推進会<br>（つまサロン会）      | 11 回 | 百歳体操<br>お茶会      | 249 人 |
| 6   | 第 11 区福祉推進会<br>（元気サロンイレブン）   | 9 回  | 交流会              | 199 人 |
| 7   | 第 13 区福祉推進会<br>（こすもす月曜会）     | 12 回 | おしゃべり会           | 173 人 |
| 8   | 第 14 区福祉推進会<br>（みぎまつまち・村クラブ） | 24 回 | 百歳体操<br>お茶会      | 353 人 |
| 9   | 第 18 区福祉推進会<br>（日吉クラブ）       | 12 回 | 健康づくり<br>おしゃべり交流 | 96 人  |
| 10  | 第 19 区福祉推進会<br>（いきいき絆サロン）    | 11 回 | 百歳体操<br>情報交換会    | 180 人 |

|    |                                  |     |                      |      |
|----|----------------------------------|-----|----------------------|------|
| 11 | 第20区福祉推進会<br>(いきいき健康サロン)         | 12回 | 百歳体操<br>健康づくり        | 253人 |
| 12 | 第21区福祉推進会<br>(童子丸ふれあいサロン)        | 12回 | 百歳体操<br>交流会          | 284人 |
| 13 | 第23区福祉推進会<br>(坂江一日会)             | 12回 | 情報交換・交流会<br>レクリエーション | 329人 |
| 14 | 第24区福祉推進会<br>(島内村なごみ会)           | 12回 | 健康づくり<br>レクリエーション    | 170人 |
| 15 | 第26区福祉推進会<br>(立野いきいきサロン会)        | 9回  | 地域活動<br>交流会          | 166人 |
| 16 | 第29区福祉推進会<br>(地域の絆・いきいき・サロン)     | 12回 | 百歳体操<br>交流会          | 254人 |
| 17 | 第31区福祉推進会<br>(第31区イキイキサロン)       | 12回 | 交流会<br>レクリエーション      | 210人 |
| 18 | 第37区福祉推進会<br>(おしゃべりサロン札の下)       | 11回 | 健康づくり<br>交流会         | 157人 |
| 19 | 第39区福祉推進会<br>(いきいきサロン緑茶の会)       | 8回  | 健康づくり<br>交流会         | 175人 |
| 20 | 第40区福祉推進会<br>(三納山桜)              | 12回 | レクリエーション<br>交流会      | 221人 |
| 21 | 第41区福祉推進会<br>(竹の内いきいきサロン)        | 12回 | 健康づくり<br>創作活動        | 162人 |
| 22 | 第42区福祉推進会<br>(はつらつおしゃべりサロン)      | 11回 | 交流会<br>発表会           | 269人 |
| 23 | 第43区福祉推進会<br>(マンショ)              | 11回 | 百歳体操<br>レクリエーション     | 159人 |
| 24 | 第44区福祉推進会<br>(げんきか〜い)            | 11回 | 健康づくり<br>レクリエーション    | 161人 |
| 25 | 45区サロン福祉推進会<br>(青山・中村・霧島・坂ノ下サロン) | 38回 | 健康づくり<br>レクリエーション    | 653人 |
| 26 | 第46区福祉推進会<br>(満月会・満潮会・いってみろ会)    | 33回 | レクリエーション<br>交流会      | 515人 |
| 27 | 第47区福祉推進会<br>(ふれあい・いきいきサロン)      | 11回 | レクリエーション<br>交流会      | 275人 |
| 28 | 第48区福祉推進会<br>(八木佐野 元気会)          | 11回 | レクリエーション<br>交流会      | 130人 |
| 29 | 第51区福祉推進会<br>(麦の会)               | 10回 | 健康づくり<br>レクリエーション    | 251人 |
| 30 | 第52区福祉推進会<br>(わちどんの集い)           | 10回 | 交流会                  | 181人 |

|    |                         |      |                  |         |
|----|-------------------------|------|------------------|---------|
| 31 | 第 53 区福祉推進会<br>(芽ばえ)    | 8 回  | 交流会              | 250 人   |
| 32 | 第 55 区福祉推進会<br>(2525 会) | 12 回 | 健康づくり<br>レクレーション | 265 人   |
|    |                         |      | 合計               | 7,819 人 |

### (2) みんなのデイサービス事業

介護保険の要介護認定において、非該当又は非該当の可能性が高い 65 歳以上の高齢者を対象に、住民協力者（ボランティア）とともに健康チェックやレクレーション交流などのデイサービスを提供した。事業へのかかわりを通して、市民が地域福祉活動を実践する場として機能することで、社会福祉制度・活動への関心と理解をすすめる、地域福祉活動を担う人材を発掘・育成することも目的のひとつとして事業を推進した。

なお、年度後半においては、担当職員の配置に支障が生じ、加えて新型コロナウイルス感染防止の観点から事業を休止せざるを得ない状況となり、実施状況は前年度を下回る結果となった。

| 区 分 | 令和元年度 |         |       | 平成 30 年度 |         |       |
|-----|-------|---------|-------|----------|---------|-------|
|     | 実施回数  | 利用者数    | 協力者数  | 実施回数     | 利用者数    | 協力者数  |
| 妻   | 16 回  | 215 名   | 54 名  | 22 回     | 315 名   | 74 名  |
| 穂 北 | 21 回  | 226 名   | 82 名  | 23 回     | 309 名   | 215 名 |
| 三 納 | 15 回  | 201 名   | 57 名  | 21 回     | 283 名   | 69 名  |
| 都於郡 | 17 回  | 185 名   | 124 名 | 23 回     | 316 名   | 132 名 |
| 三 財 | 20 回  | 231 名   | 69 名  | 22 回     | 319 名   | 75 名  |
| 東米良 | 19 回  | 76 名    | 59 名  | 18 回     | 119 名   | 76 名  |
| 合 計 | 108 回 | 1,134 名 | 445 名 | 129 回    | 1,661 名 | 641 名 |

### (3) ふれあいまごころサービス事業

介護保険事業や日常生活自立支援事業など、公的なサービスだけでは対応できない生活課題を住民相互で助け合う仕組みを有償で提供する事業で、支援が必要な地域住民の自立を専門職と連携を図りながら支援した。

なお、サービス内容の多様化への対応や作業内容に応じた利用料の設定、ボランティア協力者の報告書作成等の事務負担軽減の観点から、利用者とボランティア協力者が社協を経由せず直接契約する方法へと変更することとして協力会員、利用会員の合意を得て見直しを行い、本会事業から個人ボランティア事業へ移行整理を行った。

| 区 分      | 令和元年度 | 平成 30 年度 |
|----------|-------|----------|
| 協力会員登録者数 | 14 名  | 30 名     |



|          |           |         |
|----------|-----------|---------|
| 利用会員登録者数 | 22名       | 38名     |
| 延べ利用日数   | 912日      | 1,310日  |
| 延べ訪問時間   | 1,626.5時間 | 2,368時間 |

#### (4) ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談・支援をはじめ、活動に関する情報提供・講座・体験等を実施し、ボランティア活動の輪を広げる取り組みを行った。また、活動中の事故などに備え、ボランティア活動保険の斡旋・受付も行った。

#### ア 登録団体・相談・支援実績

| 区 分            | 令和元年度         | 平成 30 年度      |
|----------------|---------------|---------------|
| センター登録団体数      | 81 団体         | 92 団体         |
| センター登録者数       | 3,194 名       | 3,931 名       |
| 相談件数           | 126 件         | 135 件         |
| コーディネート件数      | 126 件         | 135 件         |
| ボランティア活動保険受付状況 | 31 団体・1,569 名 | 31 団体・1,646 名 |

#### イ その他の講座・体験・会議等

| 区 分   | 回数   | 参加者数  |
|---|------|-------|
| 小中学校（さいと学）でのボランティア講話・各種体験講座等                            | 14 回 | 590 名 |
| 宮崎医療福祉専門学校・看護学科 2 年生<br>地域福祉講座／みんなのデイサービス事業への参加／グループワーク | 3 回  | 140 名 |
| 市町村ボランティア連絡協議会県央ブロック研修会                                 | 1 回  | 130 名 |
| 県下一斉ボランティアの日「記紀の道周辺清掃活動」<br>（ボランティア連絡協議会との協働作業）         | 1 回  | 114 名 |
| ボランティア連絡協議会総会   | 1 回  | 80 名  |
| ボランティア連絡協議会役員会<br>（ボランティアコーディネーターがオブザーバー出席）             | 8 回  | 64 名  |

#### (5) 市民活動支援センター事業

市からの指定管理事業で、市民活動を推進する団体に対し、印刷機やコピー機を開放すると共に、会議・研修・作業の場として、生きがい交流広場の会議室等の貸出を行った。

本会としてはボランティアセンター事業と重なるところもあることから、その取り組みが中心になったところもあり、また、市民活動団体が常に使用できる部屋の確保が困難なこともあって、期待される役割が十分果たせなかったところである。

#### ア 相談支援（コーディネート）

相談支援（コーディネート）件数 126 件

## イ 会議室（和室）貸出

市民活動団体等の活動の場としての活用推進

| 会議室名等 | 令和元年度  | 平成30年度 |
|-------|--------|--------|
| 大会議室  | 3,358名 | 3,850名 |
| 中会議室  | 619名   | 783名   |
| 小会議室  | 67名    | 135名   |
| 和室    | 1,218名 | 1,413名 |
| 合計    | 5,262名 | 6,181名 |

### (6) レクリエーション用具の貸し出し事業

小地域ネットワーク事業、ボランティアセンター事業、ふれあい・いきいきサロン事業等、地域住民が主体的に取り組む地域福祉活動に必要なレクリエーション用具を整備し、無料で貸し出しを行い、活動内容の充実を図った。

| 貸出用備品名        | 貸出件数 |     | 貸出用備品名      | 貸出件数 |      |
|---------------|------|-----|-------------|------|------|
|               | R1   | H30 |             | R1   | H30  |
| カラオケセット       | 16件  | 16件 | ゲートボールセット   |      |      |
| グラウンドゴルフセット   | 42件  | 61件 | ラダーゲッター     | 7件   | 9件   |
| グラウンドゴルフ（旗のみ） | 3件   | 7件  | ターゲットバードゴルフ | 1件   | 3件   |
| シャッフルゴルフセット   | 18件  | 27件 | 室内用ペタンク     | 1件   |      |
| スカットボール       | 26件  | 22件 | トランプセット     | 1件   | 2件   |
| ストライクナイン      | 20件  | 29件 | 玉入れセット      | 1件   | 2件   |
| 輪投げセット        | 32件  | 44件 | サロン用椅子      | 1件   | 1件   |
| さくらんぼの木       | 14件  | 19件 | 高齢者疑似体験セット  | 0件   | 3件   |
| ボーリングセット      | 13件  | 15件 | バグゴゲーム      | 1件   | 1件   |
| ポケネット         | 5件   | 6件  | 底抜けホールインワン  | 5件   | 1件   |
| たいこ相撲         | 2件   | 8件  | 合計          | 209件 | 276件 |

### (7) 第1層生活支援コーディネーター業務

地域における住民主体の地域づくりの推進及び支え合い（生活支援・介護予防サービス体制）の推進を図るため、第1層生活支援コーディネーターを配置し、地域に顕在する支え合い活動や潜在化している支え合い活動の把握を行うことで、社会資源や生活ニーズの把握、関係者間の情報共有やネットワークの構築等を図った。

| 支援分野     | 具体的活動内容  | 件数  |
|----------|--|-----|
| 社会資源の把握  | ○住民主体で取り組まれている地域活動の場や関係する協議の場へ出向き、その活動の把握を行った<br>○目的別の生涯学習講座等の活動把握等に努めた（働く婦人の家主催講座等） | 27件 |
| 生活ニーズの把握 | ○住民参加型在宅福祉サービス利用者宅への訪問やその協力者から生活の困りごと等の把握を行った  | 23件 |

|                     |  |                                    |
|---------------------|--|------------------------------------|
|                     | ○地域のサロン（ふれあい・いきいきサロンやいきいき百歳体操等）の場に出向き、その参加者から暮らしの困りごと等の把握に努めた  |                                    |
| ネットワークの構築           | ○各種関係機関の開催する会議等に参加し、生活支援コーディネーターの活動周知や情報共有を行った   | 9件                                 |
| 社会資源の開発及び担い手の養成     | ○介護予防講座等を個人で展開したい住民との連携を図った<br>○若年層への支援として小学校へ出向き地域支え合いに関する講話を実施した<br>○妻高等学校普通科2年生の課題解決型調査研究への支援を行った | 5件                                 |
| 会議、打ち合わせ等への参加       | ○自立支援型地域ケア会議<br>○サロン等訪問<br>○生活支援体制整備協議会<br>○民生委員児童委員協議会関連<br>○高齢者クラブ連合会関連<br>○その他（第2層との打ち合わせ等）       | 16件<br>6件<br>2件<br>2件<br>3件<br>13件 |
| 生活支援体制整備事業に関する調査研究等 | ○先進地視察（大分県国東市）<br>○研修会参加<br>○他、文献調査等   | 1件<br>3件<br>2件                     |
| 合 計                 |  | 112件                               |

#### (8) 生きがい交流広場の管理・経営事業

市からの指定管理事業で、地域福祉を推進する拠点として、自主的かつ自発的に地域福祉活動を推進する団体等に活動の場を提供するため、会議室等の貸出を行った。

また、開館時には健康機器を開放し、市民の健康維持増進を図った。

#### ア 会議室等の利用状況

| 会議室名等 | 令和元年度  | 平成30年度 |
|-------|--------|--------|
| 大会議室  | 3,358名 | 3,850名 |
| 中会議室  | 629名   | 783名   |
| 小会議室  | 67名    | 135名   |
| 和室    | 1,218名 | 1,413名 |
| 合計    | 5,262名 | 6,181名 |

#### イ 健康機器の利用状況

| 健康機器名  | 令和元年度  | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|
| スクイェル  | 6,362名 | 7,535名 |
| マッサージ器 | 5,651名 | 6,803名 |

|          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 足裏マッサージ器 | 6,170 名  | 5,571 名  |
| 合 計      | 18,183 名 | 19,909 名 |

#### (9) 歳末たすけあい募金助成事業

「みんなでささえあう あったかい地域づくり」をスローガンに、全国展開された「歳末たすけあい募金運動」の助成を受け、民生委員児童委員協議会等の協力を得て、以下の事業を実施した。

| 事業名 | 事業内容    | 配付対象者数                                       |   |
|-----|---------|--|---|
|     |         | 70 歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、民生委員児童委員や福祉協力委員が品物をお届けした | 妻 |
| 穂 北 | 201 名   |  |   |
| 三 納 | 185 名   |  |   |
| 都於郡 | 166 名   |  |   |
| 三 財 | 190 名   |  |   |
| 東米良 | 31 名    |  |   |
| 合 計 | 1,332 名 |  |   |

#### (10) 他団体の事務局併任及び関係機関・団体等との連携・協働

民生委員児童委員協議会・高齢者クラブ連合会の事務局を併任し、各団体の事業推進や構成員への支援はもちろんのこと、本会が推進する事業とも連携を図りながら、共に地域福祉を推進する担い手として、活動の方向性や意識を共有し合いながら事業展開を図った。

## 4 在宅福祉事業の充実強化（在宅福祉課）

在宅の高齢者や障がいのある方が、自立した日常生活ができるよう生活援助等のサービスを提供し、介護予防に努めた。また、要介護状態となっても、生きがいをもって自立した日常生活を営むことができるよう他機関と連携をとりながら、介護サービスの提供に努めた。

さらに、要介護高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活していくために、各種福祉サービスの利用を勧めるとともに、介護保険サービスと組み合わせるなどして対象者の状況に応じた生活支援に努めた。

#### （在宅福祉課 訪問介護係）

介護保険法に基づき、常に介護を必要とする「要介護」の認定を受けた人や、日常生活に支障があり、支援の必要があると見込まれる「要支援」認定者及び総合事業対象者に対して、居宅において能力に応じた日常生活が営めるように支援を行った。

また、居宅介護支援事業においては、利用者の心身の状況、環境等を把握したうえで居宅介護サービス、その他の必要な保健医療サービス及び福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるよう配慮し、居宅介護サービス計画を作成した。なお、事業実施にあたっては、個人の意思を尊重し、法令遵守を念頭に適切に支援を行った。

昨年度のサービス全体の利用者は前年度と比べるとほぼ同じ人数となっているが、介護度別

にみると介護度の低い利用者は減り、介護度の重い利用者が増える結果となっている。

(1) 介護度別利用者数（令和2年3月末現在）

| 項目      | 要支援認定・日常生活支援総合事業対象者 |        |
|---------|---------------------|--------|
|         | 令和元年度               | 平成30年度 |
| 訪問型サービス | 13名                 | 15名    |
| 通所型サービス | 6名                  | 8名     |
| 給付管理    | 5名                  | 5名     |
| 合計      | 24名                 | 28名    |

（単位：名）

| 項目   | 要介護1 |     | 要介護2 |     | 要介護3 |     | 要介護4 |     | 要介護5 |     | 合計  |     |
|------|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|
|      | R元   | H30 | R元   | H30 | R元   | H30 | R元   | H30 | R元   | H30 | R元  | H30 |
| 訪問介護 | 7    | 5   | 9    | 8   | 1    | 1   | 0    | 0   | 1    | 1   | 18  | 13  |
| 訪問入浴 | 0    | 1   | 0    | 0   | 0    | 2   | 1    | 2   | 4    | 3   | 5   | 7   |
| 通所介護 | 5    | 7   | 7    | 6   | 4    | 3   | 1    | 2   | 0    | 0   | 17  | 18  |
| 給付管理 | 12   | 14  | 23   | 27  | 23   | 25  | 7    | 7   | 5    | 3   | 70  | 76  |
| 合計   | 24   | 26  | 39   | 39  | 35   | 31  | 9    | 11  | 10   | 7   | 117 | 114 |

(2) 訪問介護事業

利用者の自宅に訪問して買い物や掃除、食事や排せつの介助などを行った。

常勤2名、非常勤10名のヘルパーで訪問しており、訪問時間数で見ると要介護認定者への訪問介護サービスの提供時間が増えた分、要支援認定者・総合事業対象者へのサービス提供が少なくなっている。

ア 訪問介護事業（要介護認定者）

| 令和元年度 |        |            | 平成30年度 |        |            |
|-------|--------|------------|--------|--------|------------|
| 実利用者数 | 訪問回数   | 訪問時間       | 実利用者数  | 訪問回数   | 訪問時間       |
| 25名   | 2,259回 | 2,297.75時間 | 30名    | 2,513回 | 2,169.45時間 |

イ 訪問型サービス事業（要支援認定・総合事業対象者）

| 令和元年度 |        |            | 平成30年度 |        |         |
|-------|--------|------------|--------|--------|---------|
| 実利用者数 | 訪問回数   | 訪問時間       | 実利用者数  | 訪問回数   | 訪問時間    |
| 22名   | 1,153回 | 1,261.75時間 | 24名    | 1,351回 | 1,553時間 |

### (3) 訪問入浴介護事業

利用者の自宅を移動入浴車で訪問して、移動式の浴槽を用いて入浴の支援を行った。

前年度と比べて実利用者は減っているが、利用回数は増える結果となった。

常勤看護師 1 名、非常勤看護師 2 名、非常勤ヘルパー 3 名が、サービス提供責任者を中心に、計画的なサービス提供に努めている。

| 令和元年度 |        | 平成 30 年度 |        |
|-------|--------|----------|--------|
| 実利用者数 | 延べ利用回数 | 実利用者数    | 延べ利用回数 |
| 10 名  | 417 回  | 12 名     | 386 回  |

### (4) 軽度生活援助事業

介護認定で「自立」と認定された一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、日常生活を営むために必要な生活援助を行った。

昨年度 1 名の利用者がおられたが、令和 2 年 1 月に要介護の認定となり現在は軽度生活援助事業利用者はいない。

| 令和元年度 |      |        | 平成 30 年度 |       |          |
|-------|------|--------|----------|-------|----------|
| 実利用者数 | 派遣回数 | 延べ派遣時間 | 実利用者数    | 派遣回数  | 延べ派遣時間   |
| 1 名   | 47 回 | 47 時間  | 5 名      | 230 回 | 341.5 時間 |

### (5) 居宅介護支援事業

3 名の介護支援専門員により、介護認定及び要支援認定を受けた利用者と介護サービス事業者との調整及び、利用者や家族の希望に沿ったケアプランを作成した。

平成 29 年度より適切な事務処理の観点から、新規利用者の受け入れについては調整を行ってきており、前年度に比べて利用者数は減少している。

| 令和元年度             |                     | 平成 30 年度           |                       |
|-------------------|---------------------|--------------------|-----------------------|
| 実利用者数             | 延べ利用者数              | 実利用者数              | 延べ利用者数                |
| 93 名<br>(予防 8 名含) | 884 名<br>(予防 64 名含) | 113 名<br>(予防 9 名含) | 1,094 名<br>(予防 66 名含) |

### (6) 要介護認定調査事業

西都市及び他の市町村より認定調査の委託を受け、施設等へ出向き認定調査を行った。

有効期間が長くなったこともあり調査件数が減少傾向にある。昨年度は西都市から調査の依頼はなく、市外市町村の依頼により、市内在住の利用者の調査を行った。

| 令和元年度 (延べ件数) | 平成 30 年度 (延べ件数) |
|--------------|-----------------|
| 1 件          | 7 件             |

### (7) 障害者総合支援等事業

居宅介護として、利用者が居宅において自立した日常生活や社会生活を営む事ができるよう、障害者総合支援法に基づきヘルパーを派遣し居宅介護サービスの提供を行った。

入浴車による訪問入浴に関しては、施設で入浴をされる方や、途中で施設入所された利用者があり支援回数は減っている。

| 区分 | 令和元年度 |         |             | 平成 30 年度 |         |             |
|----|-------|---------|-------------|----------|---------|-------------|
|    | 実利用者数 | 派遣回数    | 延べ派遣時間      | 実利用者数    | 派遣回数    | 延べ派遣時間      |
| 居宅 | 21 名  | 2,821 回 | 3,110 時間    | 24 名     | 2,517 回 | 2,895 時間    |
| 同行 | 6 名   | 68 回    | 1,240.50 時間 | 8 名      | 182 回   | 317.25 時間   |
| 移動 | 9 名   | 218 回   | 431.75 時間   | 10 名     | 319 回   | 573 時間      |
| 入浴 | 5 名   | 343 回   | -           | 5 名      | 500 回   | -           |
| 合計 | 41 名  | 3,540 回 | 3,665.25 時間 | 47 名     | 3,518 回 | 3,785.25 時間 |

#### (在宅福祉課 通所介護係)

入浴、排泄、食事などの介護、生活などについての相談、助言、健康状態の確認、その他の必要な日常生活上の支援や機能訓練等のサービスを行い、利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持・向上を図ると同時に介護者である家族の心身の負担の軽減に努めた。

また、年 2 回（9 月と 3 月）の運営推進会議に関しては、1 回目（9 月）は会議を開催し、地域に開かれた事業運営及び質の向上の確保に向け、地域住民及び関係機関の方からサービス提供について評価と助言をいただいた。2 回目（3 月）の開催に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために会議は中止し、郵送により文書報告を行い、意見を集約させていただいた。

配食サービス事業（市の委託事業）については、食の確保が必要と認められた高齢者宅へ夕食を配達し高齢者の安否確認及び健康維持の推進を行った。

#### (1) 通所介護事業

利用者の自宅からデイサービスセンターへ送迎を行い、食事や排せつなどの介護、健康管理や衛生面の管理指導、看護、入浴などのサービス提供を行った。

昨年度は、利用者の入院や施設入所等により、前年度に比べて利用者数は減った結果となった。

#### ア 地域密着型通所介護（要介護認定者）

| 令和元年度 |         | 平成 30 年度 |         |
|-------|---------|----------|---------|
| 開所日数  | 延べ利用者数  | 開所日数     | 延べ利用者数  |
| 309 日 | 2,639 名 | 308 日    | 3,169 名 |

#### イ 通所型サービス（要支援認定・総合事業対象者）

| 令和元年度 |        | 平成 30 年度 |        |
|-------|--------|----------|--------|
| 開所日数  | 延べ利用者数 | 開所日数     | 延べ利用者数 |
| 309 日 | 579 名  | 308 日    | 719 名  |

## ウ 運営推進会議

利用者の家族や地域住民および関係機関の代表者等に、提供しているサービスの内容を説明し、意見交換を行うことで、地域に開かれた事業運営及び質の向上の確保を図るために実施した。

| 期日                 | 会議内容  | 出席者 |
|--------------------|---|-----|
| 令和元年 9 月 20 日（金）   | 事業内容報告（利用者の状況、活動状況、ヒヤリハット）・意見交換   | 9 名 |
| 令和 2 年 3 月 23 日（月） | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為会議開催を中止<br>書類送付し意見集約する<br>（報告事項（利用者の状況、行事・活動、アンケートの結果、ヒヤリハット）・意見交換） |     |

### (2) 山村憩いの家生きがい活動支援通所事業

山村憩いの家（東米良・銀鏡）において、日常生活の訓練や食事、入浴、生きがい活動のサービスを提供するとともに、利用者によっては、買い物や診療所受診等と連携した活用もされ、生活支援にもつながっている。

| 令和元年度 |        | 平成 30 年度 |        |
|-------|--------|----------|--------|
| 開所日数  | 延べ利用者数 | 開所日数     | 延べ利用者数 |
| 139 日 | 544 名  | 135 日    | 421 名  |

### (3) 配食サービス事業

食事の調理又は食料品の買い出しが困難な虚弱高齢者等に対して、定期的に自宅を訪問して栄養バランスの摂れた食事を提供するとともに安否確認を行った。

民間の配食業者も増えてきている状況もあり、また一方では、配食を毎日利用されていた利用者が施設へ入所されるなどして配食数は減ってきている。

市の委託事業でもあり、責任ある食事提供のための職員配置も行っていることから、配食数が減少した場合の対応について検討を進める必要がある。

| 令和元年度 |          | 平成 30 年度 |        |
|-------|----------|----------|--------|
| 登録人員  | 延べ配食数    | 登録人員     | 延べ配食数  |
| 78 名  | 16,747 食 | 95 名     | 19,546 |

## 5 地域包括支援センター事業

高齢者の心身の健康保持、保健医療の向上、生活の安定のために必要な援助を行うとともに、地域の高齢者の生活を包括的に支援することができるよう、「地域包括ケアシステム」構築のための体制づくりを図り、地域包括支援事業を一体的に実施する中核的機関として事業を行った。



### (1) 総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるように、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切な資源やサービス、関係機関・制度の利用に繋げるなどの支援を行った。また、自立支援に向けた自助、互助の支援の視点を持ちながら支援した。

#### ア 総合相談窓口業務

地域の総合相談窓口として、地域住民の相談に応じ、各関係機関と連携を取りながら必要な支援を行った。更にサービス未利用者や総合事業の移行に伴う相談支援数を明確に分類し取り組んだ。

昨年度は、日常生活支援総合事業の短期集中予防サービスの新設など、サービスの多様化に伴い相談・支援件数が増えてきている。

| 相 談 区 分        | 令和元年度   | 平成 30 度 |
|----------------|---------|---------|
| 介護に関すること       | 76 件    | 96 件    |
| 福祉用具に関すること     | 70 件    | 93 件    |
| 住宅改修に関すること     | 85 件    | 106 件   |
| 保険に関すること       | 2 件     | 2 件     |
| 在宅福祉サービスに関すること | 142 件   | 202 件   |
| 介護保険申請に関すること   | 227 件   | 212 件   |
| 介護保険認定調査に関すること | 28 件    | 20 件    |
| 介護保険サービスに関すること | 213 件   | 271 件   |
| 老人福祉施設に関すること   | 92 件    | 40 件    |
| ボランティアに関すること   | 0 件     | 1 件     |
| 医療機関に関すること     | 210 件   | 231 件   |
| 高齢者虐待に関すること    | 2 件     | 4 件     |
| 認知症高齢者に関すること   | 125 件   | 153 件   |
| 精神疾患に関すること     | 20 件    | 75 件    |
| 苦情に関すること       | 9 件     | 6 件     |
| 情報提供に関すること     | 449 件   | 516 件   |
| 権利擁護に関すること     | 11 件    | 33 件    |
| その他            | 30 件    | 23 件    |
| サービス未利用者       | 132 件   | 136 件   |
| 要支援認定者・事業対象者   | 1,939 件 | 1,208 件 |
| 合 計            | 3,862 件 | 3,428 件 |

#### イ 実態把握業務

地域住民や各関係機関からの情報提供により、地域の高齢者の心身の状況や家庭環境等について実態把握を行うことで、要介護状態にならないための予防的対応や未然防止的な対応を図ることができるよう努めた。

また、公民館等地域住民への介護予防支援を行った。

| 令和元年度 | 平成 30 年度 |
|-------|----------|
| 332 件 | 408 件    |

#### ウ 介護予防教室（出前講座）

地域の住民が活動される場面において、人口推計などを用い、住民に対する教育を行った。

| 令和元年度 | 平成 30 年度 |
|-------|----------|
| 8 回   | 2 回      |

#### (2) 権利擁護相談業務

判断力の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持しつつ、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から支援を行った。

相談件数は前年度に比べ減少しているが、虐待件数及び単独世帯や認知症高齢者の伸展による成年後見利用支援の件数が増加している。

| 内 容          | 令和元年 | 平成 30 年度 |
|--------------|------|----------|
| 身体的虐待について    | 6 件  | 2 件      |
| 経済的虐待について    | 5 件  | 4 件      |
| 精神的虐待について    | 6 件  | 1 件      |
| 性的虐待について     | 0 件  | 0 件      |
| 介護放棄について     | 0 件  | 0 件      |
| 成年後見制度利用について | 26 件 | 9 件      |
| 消費者被害について    | 1 件  | 1 件      |
| 困難事例について     | 46 件 | 124 件    |
| その他          | 3 件  | 6 件      |
| 合 計          | 93 件 | 154 件    |

#### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

介護支援専門員（ケアマネジャー）の日常的業務相談の対応、支援困難事例などへの指導・助言等の支援を行った。さらに、効果的な地域支援及び、地域連携の構築の視点として専門職（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）が関係機関や、地域住民との情報共有の機会を持ち、専門職としての能力を活かしたチーム支援に努めた。

| 内 容             | 令和元年度 | 平成 30 年度 |
|-----------------|-------|----------|
| ケアマネジメント支援対応件数  | 0 件   | 0 件      |
| 地域連携会議          | 46 件  | 54 件     |
| 多職種連携に係る会議      | 15 件  | 6 件      |
| ケアマネジメント支援に係る会議 | 29 件  | 32 件     |
| その他             | 23 件  | 17 件     |
| 合 計             | 113 件 | 109 件    |

| 会議又は事業名           | 内容等  |
|-------------------|--|
| 自立支援型中央地域ケア会議     | <p>【目的】高齢者の QOL の向上、要介護認定者の減少及び重度化予防、介護保険料の上昇抑制等を目的に西都市主催で開催</p> <p>【内容】包括支援センター職員及び居宅介護支援事業所の立案した介護予防プランに対して、自立を阻害する原因の追究と課題の整理、インフォーマルサービスの活用、医療介護の連携、地域課題の発見・解決策の検討、参加者の OJT 効果が得るよう専門職からのアドバイスを受ける</p> <p>【回数】19 回<br/>(南地区地域包括支援センターでは 11 事例提出)</p>                           |
| 地域課題の仕分け会議        | <p>【目的】自立支援型地域ケア会議で抽出された地域課題に対しての解決に向けての協議</p> <p>【内容】行政、生活支援コーディネーター、包括支援センター職員による提出事例に対して地域課題を抽出し、解決に至るための検討を行う</p> <p>【回数】14 回</p>  |
| キュア・ケアネットワーク会議    | <p>【目的】地域の医療・介護の実務者の顔の見える関係づくりと共通知識力の向上を行い課題解決が早期にできるよう実施</p> <p>【内容】<br/>□令和元年 12 月 9 日（月）19：00～20：30<br/>参加者：70 名<br/>講演 「在宅における感染対策」<br/>講師 隆徳会 鶴田病院<br/>感染管理認定看護師 日高まどか先生</p>  |
| 西都市避難行動要支援者情報共有会議 | <p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域住民と支援者との情報共有</li> <li>② 個別の見守り体制など支援力の強化</li> </ol> <p>【内容】</p> <p>□民生委員児童委員協議会定例会での開催<br/>5 月妻・都於郡・東米良<br/>6 月三財・三納・穂北</p> <p>□民生委員児童委員、ケアマネジャー、福祉事務所、危機管理課、包括支援センターとの「避難行動要支援者」の情報共有と意見交換<br/>最新の情報を更新<br/>延べ参加 157 名</p> |
| 権利擁護研修会           | <p>【目的】判断能力の不十分な方たちを権利侵害から守るため、法テラスの役割、成年後見制度の利用に対す</p>  |

|             |  |
|-------------|--|
|             | <p>る支援について理解する</p> <p>【内容】</p> <p>□令和元年11月14日(木)</p> <p>参加者 43名</p> <p>講義① 「法テラスの業務について」</p> <p>講師 法テラス宮崎法律事務所<br/>弁護士 太田圭一 氏</p> <p>講義② 「市長村長申し立てについて」</p> <p>講師 西都市福祉事務所高齢福祉係<br/>係長 本部 典子 氏</p> |
| 2 包括カンファレンス | <p>【目的】 北・南両地域包括支援センター間での地域支援事業の内容充実と共有化を行った</p> <p>【内容】</p> <p>包括支援センター職員による情報交換、意見交換会議<br/>6回開催<br/>(内1回は西都市健康管理課 地域包括ケア推進係も参加)</p>  |

#### (4) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務

高齢者の心身の状況とそれを取り巻く環境などを勘案し、自立支援に向けて、利用者の主体的な活動と参加意欲の促進を図りながら介護予防の支援に努めた。自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントとして、地域支援事業の中のサービスに位置づけられている通所型サービス、訪問型サービス利用のマネジメントを行った。

| 会議・事業内容        | 令和元年度         | 平成30年度        |
|----------------|---------------|---------------|
|                | 実施回数          | 実施回数          |
| 介護予防支援         | 896件(内、初回38件) | 825件(内、初回33件) |
| 地域包括支援センター     | 513件(内、初回23件) | 379件(内、初回19件) |
| 居宅介護支援事業所(委託)  | 383件(内、初回15件) | 446件(内、初回14件) |
| 介護予防ケアマネジメント   | 892件(内、初回45件) | 843件(内、初回31件) |
| 地域包括支援センター     | 830件(内、初回44件) | 802件(内、初回27件) |
| 居宅介護支援事業所(委託)  | 62件(内、初回1件)   | 41件(内、初回4件)   |
| 居宅介護支援事業所実務者会議 | 6回(主任者時会議)出席  | 6回(主任者会議)出席   |

#### (5) 地域包括ケアシステム構築推進に向けた取り組み

地域支援事業として新たに体制づくりの強化が重要となっていることから、その柱として包括支援センターと西都市健康管理課地域包括ケア推進係が事務局となり「在宅医療と介護の連携推進」、「生活支援の基盤整備」、「認知症施策の推進」の取り組みに努めた。

#### ア 在宅医療・介護連携推進協議会

(ア) 目的 在宅医療・介護連携推進の取り組み

- (イ) 内容 平成 30 年度 事業実績報告 令和元年度 年度事業計画  
医療・介護の連携体制の構築及び情報共有化の取り組みに関する基本計画書及び  
情報共有システムの運用管理方針(案)について
- (ウ) 委員 医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・医療連携ソーシャルワーカー・在宅介護  
支援センター・保健所・健康管理課等専門職
- (エ) 回数 1 回

#### イ 生活支援体制整備事業

- (ア) 目的 地域包括ケアシステム構築推進の取り組み
- (イ) 内容 地域の課題解決に向けた協議
- (ウ) 委員 地域づくり協議会会長 民生委員児童委員協議会 西都市シルバー人材センター  
特別養護老人ホーム NPOさいと旗立会 西都市商工会議所 三和交通株式会  
社 西都市中央在宅介護支援センター 西都市社会福祉協議会
- (エ) 回数 2 回

#### ウ 認知症施策推進会議

- (ア) 目的 認知症高齢者の生活が継続できるための体制づくり
- (イ) 内容 認知症初期集中支援チーム支援状況  
認知症フォーラムについて
- (ウ) 委員 精神科医師・認知症サポーター医師・グループホーム管理者・病院連携室・介護  
支援専門員・福祉事業従事者・認知症高齢者家族関係者 西都市社会福祉協議会
- (エ) 回数 6 回

#### (6) 認知症にやさしい地域づくりネットワーク形成事業

高齢者ができるだけ認知症にならないように、また、たとえ認知症になったとしても、認知症高齢者の尊厳が保たれ、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域の関係者によって支えられる体制（ネットワーク）づくりを推進するとともに、継続的なアフターケアを行うことに努めた。

なお、この事業については、認知症施策推進会議の中で協議されることとなり、昨年度で終了となる。

| 会議名等                             | 期日                  | 人数   | 内容等   |
|----------------------------------|---------------------|------|---|
| 第 1 回西都市認知症にやさしい地域づくりネットワーク運営委員会 | 令和元年 6 月<br>28 日（金） | 18 名 | (1) 平成 31 年度事業計画<br>(2) 行方不明者報告について<br>(3) 認知症 SOS 事前登録者について<br>(4) 運転免許証自主返納高齢者の報告 |

#### (7) 第 2 層生活支援コーディネーター業務

高齢者の生活支援、介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けた調整を行うため、第 2 層生活支援コーディネータ

ーを配置し事業を実施した。

| 種目                     | 内容              | 令和元年度 | 平成 30 年度 |
|------------------------|-----------------|-------|----------|
| 資源の把握に関すること            | 社会資源の把握         | 51 件  | 57 件     |
|                        | 生活ニーズの把握        | 33 件  | 23 件     |
| 資源開発に関すること(百歳体操立ち上げ支援) |                 | 3 件   | 5 件      |
| ネットワークに関すること           |                 | 27 件  | 35 件     |
| 生活体制整備協議会              | 生活体制整備協議会       | 2 件   | 0 件      |
|                        | 生活支援体制整備事業の打合せ  | 17 件  | 9 件      |
|                        | 連絡会・研修等         | 3 件   | 9 件      |
|                        | 先進地視察研修(大分県国東市) | 1 件   |          |
| 会議打合せ会                 | 地域連携に係わること      | 27 件  | 30 件     |
|                        | 介護予防等出前講座       | 25 件  | 23 件     |
|                        | 百歳体操協力員研修       | 2 件   | 34 件     |
|                        | 地域ケア会議・課題分析     | 30 件  | 14 件     |
|                        | 合 計             | 221 件 | 239 件    |

#### (8) 認知症地域支援推進受託事業

認知症の症状に応じ、日常生活において必要な医療・介護及び生活支援を行うサービス機関が有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人への支援の構築を行うとともに、認知症ケアの向上を図るための取り組みを推進するため、認知症地域支援推進員を配置し認知症施策推進を行った。

| 種目                                 | 内容                              | 令和元年度 | H30 年度 |
|------------------------------------|---------------------------------|-------|--------|
| 個別支援                               | 相談・実態把握                         | 46 件  | 45 件   |
| 家族支援                               | 家族・男性介護者カフェ・オレンジカフェ             | 16 件  | 17 件   |
| 地域連携に係わる会議                         | 民生委員児童委員協議会理事会・定例会等             | 10 件  | 6 件    |
| 地域連携に係わる会議<br>地域づくりネットワーク<br>運営委員会 | キャラバンメイト意見交換会                   | 1 件   | 1 件    |
|                                    | グループホーム運営推進会議                   | 5 件   | 5 件    |
|                                    | 代表者とアドバイザーによる認知症支援体制整備          | 1 件   | 2 件    |
| 地域住民啓発                             | 認知症サポーター養成講座                    | 7 件   | 15 回   |
| 地域住民啓発<br>認知症施策推進会議                | 認知症サポーターフォローアップ講座<br>(都於郡・穂北地区) | 2 件   | 1 回    |
|                                    | 出前講座                            | 8 件   | 6 回    |
|                                    | 施策推進に向けた協議の場                    | 5 回   | 6 回    |
| 認知症初期集中支援チーム                       | 支援ケース会議                         | 5 回   | 5 件    |
| 住民向け認知症啓発                          | 認知症フォーラム                        | 200 名 | 175 名  |

|  |              |  |  |
|--|--------------|--|--|
|  | 開催日：令和2年2月1日 |  |  |
|--|--------------|--|--|

(9) その他

ア 認知症 SOS ネットワーク連絡網 2次ネットワークの活用

令和元年度5名の高齢者等が行方不明となったが、情報発信にはつながっていない  
認知症 SOS 事前登録者 新規登録 10名 延登録者 26名

イ 各種実習生の受け入れ

九州保健福祉大学 1名

宮崎医療福祉専門学校 21名 宮崎大学医学部医学生 3名 計 25名

令和2年度 社会福祉法人西都市社会福祉協議会事務局組織図

|     |     |
|-----|-----|
| 理事  | 9名  |
| 監事  | 2名  |
| 評議員 | 15名 |

